

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
現代文B	3	3年・1類・AC型	必修
授業担当者		教科書名	副教材等
*****		精選現代文(東京書籍)	常用漢字ダブルクリア (尚文出版) 等

科目の到達目標
評論、論説文などの論理展開や要旨を的確にとらえる力を養う。
文学的文章について、表現を通して人物、情景、心情などを捉える。
語句の意味、用法を理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞など表現上の特色を学ぶ。
さまざまな文章に接し、人間、社会、自然などについての考え方を知り、自分の考えの発展につなげる。
演習問題を解くことで、入試への実戦力を高める。

評価の観点と方法について
使用するテキストは比較的オーソドックスな作品や作者のものがとられているが、国語総合に比べると難解なものが多い。これらの作品を正しく読解する力をつけることが、上記の目標に到着する力をつけることになる。また、実際の入試に対応できる応用力をつけるために、適宜問題演習を実施する。
小論文模試を実施して表現力の向上をはかる。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一 学 期	4	評論 「言語と記号」 丸山 圭三郎	・抽象的な言語論に慣れ、高度な読解力を身につける。	・筆者の主張が何であるのかを的確に掴み、抽象論を正確に理解する。 ・普遍的な事象を特定の角度からとらえた評論を読み、言葉や人間についての認識を深める。
	5	小説 「スペインタイルの家」 木内 昇	・鋭い言語感覚、優れた表現効果を味わう。	・独特の世界観や内面表現を通じて、ユーモアに富んだ小説を味わう。
		1 学期中間考査		
	6	評論 「鏡の中の現代社会」 見田 宗介	・近代を論じた評論を読み、現代社会における生き方を見直す。	・比較によって多角的に物事を考える。 ・近代的価値観の特徴を理解し、私たちの生きる現代社会を見直すことで、新しい社会の在り方を模索する。
	7	随想 「クレールという女」 須賀 敦子	・個性的な内容の随想を読むことを通して、感性や心情を豊かにする。	・引用された『人間のしるし』の登場人物たちの生き方を通して述べられた男性観、女性観について理解する。
		問題演習		
		1 学期末考査・夏期講習		

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	評論 「社会の壊れる時」 鷲田 清一	・論理の構成を把握し、説得力のある展開の方法を身につける。	・引用と筆者の意見を整理し、論旨を把握する。 ・抽象的な表現を具体的に理解し、筆者が述べる問題点を理解する。
	10	評論 「平気 - 正岡子規」 長谷川 権 問題演習 2学期中間考査	・歌論を読み、作品鑑賞の感じ方を深める。	・作品からどのようにして筆者が主張を導き出したのかを考え、理解する。 ・歌論を通じて子規の句作に対する姿勢を理解する。
	11	小説 「舞姫」 森 鷗外	・小説作品の優れた表現を読み味わう。 ・明治期の文語体によって描き出された香り高い作品世界を読み味わう。	・小説の場面展開を的確に読み取り、その作品の主題について考える。 ・主要人物の行為や心のはたらきを通して青春期の生き方について考える。
	12	随想 「言葉を生きる」 若松 英輔	・文章に込められた筆者の思いを自己の経験に即して理解し、感性を豊かにする。	・随想に描かれた内容を表現に即して的確にとらえる。 ・文章で表された内容を自己の経験を照らし合わせることで、随想の面白さを味わう。
		問題演習		
		2学期末考査・冬期講習		
三 学 期	1	評論 「原始社会像の真実」 新納 泉	・論理的な文章を的確に読み取った上で、常識を鵜呑みにせず批判的な思考を養う。	・論理を的確にたどり、深い思索が幅広い知識に支えられていることを理解する。 ・筆者のものの見方、考えかたを自己の立場から批判的に読み取る。
	2	学年末考査		
	3			
その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など） 大学、短大、専門学校とそれぞれ入試問題は形式が異なるので、問題傾向を調べておき、自分が必要とする力を意識させる。				

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
現代文B	2	3年・1類・B型	必修
授業担当者		教科書名	副教材等
*****		精選現代文(東京書籍)	常用漢字ダブルクリア

科目の到達目標
評論、論説文などの論理展開や要旨を的確にとらえる力を養う。
文学的文章について、表現を通して人物、情景、心情などを捉える。
語句の意味、用法を理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞など表現上の特色を学ぶ。
さまざまな文章に接し、人間、社会、自然などについての考え方を知り、自分の考えの発展につなげる。
演習問題を解くことで、入試への実戦力を高める。

評価の観点と方法について
使用するテキストは比較的オーソドックスな作品や作者のものがとられているが、国語総合に比べると難解なものが多い。これらの作品を正しく読解する力をつけることが、上記到達目標に添う力をつけることになる。また、実際の入試に対応できる応用力をつけるために、問題集を併用する。
小論文模試を実施して表現力の向上をはかる。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
学期	4	評論 「言語と記号」 丸山 圭三郎	・抽象的な言語論に慣れ、高度な読解力を身につける。	・筆者の主張が何であるのかを的確に掴み、抽象論を正確に理解する。 ・普遍的な事象を特定の角度からとらえた評論を読み、言葉や人間についての認識を深める。
	5	小説 「スペインタイルの家」 木内 昇 1学期中間考査	・小説における場面の描写を表現に即して捉え、登場人物の心情を理解する。	・小説の背景にある時代を理解させつつ、主人公の心情の変化に注意して、小説を読み味わう。
	6	評論 「鏡の中の現代社会」 見田宗介 評論 「他者の声 実在の声」 野矢茂樹	・近代を論じた評論を読み、現代の社会における自分の生き方について考える。 ・抽象的な問題について論理的に考える力を養う。 ・筆者の主張や思考を理解し、物事の捉え方の幅を広げる。	・評論を論理の展開に沿って読み取り、筆者の見解を理解する。 ・現代社会が抱える諸問題を理解し、それを乗り越えるための考え方を身につける。 ・比喩や例示の意図を理解することで要旨を捉え、哲学的な思考の方法を理解する。
	7	問題演習 一学期末考査・夏期講習		

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	評論 「社会の壊れる時」 鷲田清一	・ 叙述の仕方に注意して論の展開の特徴をつかみ、筆者の考えを理解する。	・ 事例と引用を用いた論の展開を確かめながら主張を捉え、知性の意義について自分の考えを深める。
	10	評論 「平気 - 正岡子規」 長谷川権 ・ 問題演習 2学期中間考査	・ 歌論を精読し、言葉を通して、そこに表現された真実・本質を読み取ることを学ぶ。	・ 韻文とその解釈によって描き出される人物像を的確に捉え、人間と文学の関係を考える。
	11	小説 「舞姫」 森 鷗外 問題演習	・ 小説作品の優れた表現を読み味わう。 ・ 明治期の文語体によって描き出された作品世界を読み味わう。	・ 小説の場面展開を的確に読み取り、その作品の主題について考える。 ・ 主要人物の行為や心のはたらきを通して青春期の生き方について考える。
	12	2学期末考査・冬期講習		
三 学 期	1	随想 「クレールという女」 学年末考査	・ 個性的な内容の随想を読むことを通して、感性や心情を豊かにする。	・ 長い時間をかけて深まっていた筆者の読書体験を読み取り、人間の生き方について考える。
	2			
	3			

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

大学、短大、専門学校とそれぞれ入試問題は形式が異なるので、問題傾向を調べておき、自分が必要とする力を意識しましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
現代文	3	3年・2類・文型	必修
授業担当者		教科書名	副教材等
*****		精選現代文(東京書籍)	入試問題集 等

科目の到達目標
評論、論説文などの論理展開や要旨を的確にとらえる力を養う。
文学的文章について、表現を通して人物、情景、心情などを捉える。
語句の意味、用法を理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞など表現上の特色を学ぶ。
さまざまな文章に接し、人間、社会、自然などについての考え方を知り、自分の考えの発展につなげる。
演習問題を解くことで、入試への実戦力を高める。

評価の観点と方法について
使用するテキストは比較的オーソドックスな作品や作者のものがとられているが、国語総合に比べると難解なものが多い。これらの作品を正しく読解する力をつけることが、上記到達目標に添う力をつけることになる。また、実際の入試に対応できる応用力をつけるために、問題集を併用する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一 学 期	4	評論 「鏡の中の現代社会」 三田宗介	・近代を論じた評論を読み、現代社会における自分の生き方について考える。	・比喩や具体例を見つけながら、筆者の主張を的確に読み取る。 ・近代社会と非近代社会との二項対立を整理しながら読む。
	5	評論 「平気ー正岡子規」 長谷川耀	・評論を読み、語句の意味や表現上の特色を捉え、自分の表現に役立てる。	・評論を論理の展開に沿って読み取り、筆者の見解を理解する。
		問題演習 1 学期中間考査		
	6	小説 「舞姫」 森鷗外	・小説作品の優れた表現を読み味わう。 ・明治期の文語体によって描き出された香り高い作品世界を読み味わう。	・小説の場面展開を的確に読み取り、その作品の主題について考える。 ・主要人物の行為や心のはたらきを通して青春期の生き方について考える。
	7	評論 「他者の声 実在の声」 野矢茂樹	・哲学的に人間存在のあり方を論じた評論を読み、その抽象的表現を読み解く。	・抽象的表現を理解するとともに、的確にそれを説明する力を身につける。 ・評論の読み方に習熟し、筆者のものの見方、考え方を自己の立場から批判的に読みとる。
		問題演習 1 学期末考査・夏期講習	・2学期のセンター演習に向けての準備として問題の解法を学ぶ。	

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	問題演習	・入試に対応できる力を養う。	・問題集や入試過去問題を解くことによって、正しい解答を作成する力を身につける。
	10	入試過去問題演習	・入試過去問題の演習を重ねて学力の充実を図る。	・私立大学の入試問題や二次試験の問題にあたらせ、個別に指導する。
		2学期中間考査	・小論文入試に対応できる力を養う。	・小論文添削指導。
		問題演習	・入試に対応できる力を養う。	・問題集や入試過去問題を解くことによって、正しい解答を作成する力を身につける。
	11	センター対策問題集		
		入試過去問題集	・センターの過去問題や入試過去問題の演習を重ねて学力の充実を図る。	・私立大学の入試問題や二次試験の問題にあたらせ、個別に指導する。
		2学期末考査	・小論文入試に対応できる力を養う。	・小論文添削指導。
	12	冬期講習		
三 学 期	1	センター試験直前対策	・センター試験に向けての総仕上げ。	・演習及び、注意点の確認。 ・基本事項をチェックし、模擬問題にあたる。
	2	学年末考査		
	3			

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

- ・受験予定大学の出題傾向を各自で必ず把握しておくこと。
- ・入試に小論文が必要な場合は、適宜小論文模試を実施する。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
現代文	2	3年・2類・理型	必修
授業担当者		教科書名	副教材等
*****		精選現代文 B(東京書籍)	入試問題集 等

科目の到達目標
評論、論説文などの論理展開や要旨を的確にとらえる力を養う。
文学的文章について、表現を通して人物、情景、心情などを捉える。
語句の意味、用法を理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞など表現上の特色を学ぶ。
さまざまな文章に接し、人間、社会、自然などについての考え方を知り、自分の考えの発展につなげる。
演習問題を解くことで、入試への実戦力を高める。

評価の観点と方法について
使用するテキストは比較的オーソドックスな作品や作者のものがとられているが、国語総合に比べると難解なものが多い。これらの作品を正しく読解する力をつけることが、上記到達目標に添う力をつけることになる。また、実際の入試に対応できる応用力をつけるために、問題集を併用する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一学期	4	評論 「鏡の中の現代社会」 三田宗介	・近代を論じた評論を読み、現代社会における自分の生き方について考える。	・比喩や具体例を見つけながら、筆者の主張を的確に読み取る。 ・近代社会と非近代社会との二項対立を整理しながら読む。
	5	評論 「平気ー正岡子規」 長谷川 権 問題演習 1 学期中間考査 小説 「舞姫」 森鷗外	・評論を読み、語句の意味や表現上の特色を捉え、自分の表現に役立て ・小説作品の優れた表現を読み味わう。 ・明治期の文語体によって描き出された香り高い作品世界を読み味わう。	・評論を論理の展開に沿って読み取り、筆者の見解を理解する。 ・小説の場面展開を的確に読み取り、その作品の主題について考える。 ・主要人物の行為や心のはたらきを通して青春期の生き方について考える。
	6	評論 「他者の声 実在の声」 野矢茂樹	・哲学的に人間存在のあり方を論じた評論を読み、その抽象的表現を読み解く。	・抽象的表現を理解するとともに、的確にそれを説明する力を身につける。 ・評論の読み方に習熟し、筆者のものの見方、考え方を自己の立場から批判的に読みとる。
	7	問題演習 1 学期末考査 夏期講習	・2 学期のセンター演習に向けての準備として問題の解法を学ぶ。	
	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法

二 学 期	9	問題演習	・入試に対応できる力を養う。	・問題集や入試過去問題を解くことによって、正しい解答を作成する力を身につける。
	10	入試過去問題演習	・入試過去問題の演習を重ねて学力の充実を図る。	・私立大学の入試問題や二次試験の問題にあたらせ、個別に指導する。
		2学期中間考査	・小論文入試に対応できる力を養う。	・小論文添削指導。
		問題演習 センター対策問題集	・入試に対応できる力を養う。	・問題集や入試過去問題を解くことによって、正しい解答を作成する力を身につける。
	11	入試過去問題集	・センターの過去問題や入試過去問題の演習を重ねて学力の充実を図る。 ・小論文入試に対応できる力を養う。	・私立大学の入試問題や二次試験の問題にあたらせ、個別に指導する。 ・小論文添削指導。
三 学 期	12	2学期末考査 冬期講習		
	1	センター試験直前対策	・センター試験に向けての総仕上げ。	・演習及び、注意点の確認。 ・基本事項をチェックし、模擬問題にあたる。
	2	学年末考査		
	3			

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

- ・受験予定大学の出題傾向を各自で必ず把握しておくこと。
- ・入試に小論文が必要な場合は、適宜小論文模試を実施する。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
現代文B	3	3年3類	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	新編現代文B（東京書籍）	『常用漢字ダブルクリア』 （尚文書店）	

科目の到達目標 国語総合における学習を基礎に、近代以降の様々の文章に見られる論理的思考の過程やその表現、構成を学び、ものの見方、考え方を広め、評論文の読解力を高める。 さまざまな文学的表現に触れ、表現の豊かさを学び、自己の言語表現の可能性を広げる。語句の意味、用法を理解し、語彙量を豊かにする。
--

評価の観点と方法について - 教科書の単元教材ごとに読解力、鑑賞力、語彙力等が備わっているかを各定期考査で検証する。 - 生徒全体の理解の度合いの検証とともに、生徒個々の理解の伸長、遅滞にも留意する。 - 適宜漢字の書き取りを実施し、漢字力の向上に繋げる。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一学期	4	評論「最初のペンギン」 （茂木健一郎）	- 評論を論理の展開に沿って読み取り、筆者の見解を理解する。 - 筆者の考え方を手がかりにして現代社会を生きるうえでどのような態度が必要か考える。	- 未知の世界へ勇気を持って飛び込むことの意味や、自分の生き方について考える。 - 段落構成を意識して読解する。
	5	小説「山月記」 （中島敦）	小説の虚構性を通して人間存在の意味、人生の在り方について考えを深める。	- 登場人物の心情を表現に即して把握し、人間理解に繋げる。 - 小説を読むことをとおして、自分とは何か、人間とは何かという問題について考えを深める。
		1学期中間考査		
	6	小説「カンガルー日和」 （村上春樹）	情景や心理描写に注意しながら小説を読み、描かれた世界を的確にとらえる。	小説に描かれたさまざまな愛や葛藤の姿から、心のふれ合いについて考える。
	7	随想「カフェの開店準備」 （小池昌代）	言葉の表現を味わいながら、筆者の思いを捉える。	日常への鋭い視線、逆転の発想が描かれた文章を読み、視野を広げる。
		1学期期末考査		

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	評論「言葉は世界を切り分ける」 (今井むつみ)	・比較の手法に注意しながら、筆者の主張を的確に捉える。	・他言語と比較することで言葉の意味の在り方を理解し、言葉に関心を持つ。
	10	詩歌 「春雷【俳句】」 2学期中間考査	・さまざまな詩歌に親しみ、鑑賞力を高め、豊かな感性を養う。	・俳句独自のリズム、季節感などを味わい、そこに込められた作者の心情を読み取る。 ・俳句を創作する。
	11	「永訣の朝」 (宮澤賢治)	・比喻などの詩的な表現への理解を深め、詩歌に込められた作者の心情を味わう。	・多様な表現を深く味わい、鑑賞力を高め、自己の感性を豊かにする。
	12	評論「ホンモノのおカネの作り方」 (岩井克人) 2学期期末考査	・具体例と抽象的な説明に着目して、内容を的確に読み取る。	・例の対比に注意して論旨をたどり、貨幣経済の本質を理解する。
三 学 期	1	小説「鞆」 (安部公房) 学年末考査	・時代背景や虚構性に注意して小説を読み、人間の生き方について考える。	・登場人物の行動、心理、性格を的確に読み取る。 ・寓意に注意しながら読み、「現代」という時代について考える。
	2			
	3			

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

- ・学習課題ノートの問題に取り組み、国語の基礎力、応用力を養成する。
- ・文章表現の練習を計画的に行い、記述の力を養成する。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
古 典	3	3年1類A・C型	必修
授業担当者		教科書名	副教材等
*****		精選古典 B (東京書籍)	古文単語 330 (いっずな書店)

科目の到達目標
さまざまな時代の古典作品を読み、既修の古文単語力や文法力を活用して、そこに見られる生活感情や美意識をとらえると共に、現代の生活や価値観と比較して、古典作品の背景やそれぞれの時代の文化をより深く観賞できるようにする。

評価の観点と方法について
各分野の解釈力、読解力を定期考査で評価する。その際、授業内容の暗記力でなく、初見の古文にも対応できる古文解釈のための学力が備わっているかを検証する。
基本古語の語彙力など、入試に向けての基本的知識も確認し、評価の一部とする。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
	4	説話 「成方といふ笛吹き」 『十訓抄』	・説話に表れている古人のものの見方や感じ方、考え方を理解する。	・俊綱と成方それぞれの心情と策について理解する。 ・「べし」「む」「らる」の用法を確認する。
	5	日記 「女郎花」『紫式部日記』 漢詩 李白と杜甫 「秋浦歌」「登高」 1 学期中間考査	・日記を読み、作者のものの見方や感じ方、考え方について考察する。 ・詩を読み、そこにうたわれた情景や心情を読み味わう。	・「女郎花」の歌のやりとりの意味と筆者の心情を読み取る。 ・敬語・係り結び・「なめれ」・「らむ」の識別・「なり」の識別、を確認する。 ・近体詩と古体詩の違いを理解する。 ・李白と杜甫の表現方法や作風の違いを捉え、味わう。
	6	日記 「夢よりはかなき世の中を」 『和泉式部日記』 歌論 「やまと歌は」「六歌仙」 『古今和歌集仮名序』	・当時の結婚形態を把握し、女性の心情を理解する。 ・和歌に対する古人のものの見方や感じ方、考え方を理解する。	・季節感を表す情景描写や筆者の心情を読み取る。 ・踏まえている古歌・比喻・「あなれ」・「ゆめ」・敬語・主語を確認する。 ・和歌とはどのようなものだとして述べられているかを読み取る。 ・各歌人評を正確に読み取る。
	7	1 学期末考査		

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一 学 期	9	物語 「車争ひ」『源氏物語』	- 場面の状況と登場人物の心情を把握し、物語の世界を読み味わう。 - 作品の、古典における位置づけや普遍的価値について考察する。	- 登場人物の立場を正確に把握し、それぞれの心情を理解する。 - 重要古語・主語・敬語・「べし」・「なり」・「る」・「む」・「え…ず」・「な…そ」・省略を確認する。
	10	「亡き人を恋ふる歌」 『正徹物語』 2 学期中間考査	和歌を通して、現代にも通じる親子・夫婦の情愛を感じ取る。	- それぞれの和歌に詠まれている心情を読み取る。 - 重要古語の意味を確認する。
		物語 「姫君の苦難」 『落窪物語』	場面や人物の設定に着目しながら、登場人物の行動や心情を捉える。	- 本文から状況を正確に読み取り、登場人物の心情や考え方を把握する。 - 会話文の主語と意味を理解する。
	11	評論 「清少納言」「紫式部」 『無名草子』	- さまざまな評論を読み、論旨を的確に捉える - 評論に表れている古人のものの見方や感じ方、考え方を理解する。	- 作者の論旨を読み取り、理解する。 - 重要古語・敬語・指示語の内容・主語・「あめる」を確認する。
		「鷹狩りの歌」 『俊頼髄脳』	古人の和歌に対する思いを理解する。	- 二首の歌の意味を理解する。 - 四条大納言の言葉の意味とそれぞれの歌に対する評価を理解する。 「べし」・「なむ」・「え」・「じ」・「る」の用法を理解する。
	12	2 学期末考査		
三 学 期	1	説話 「留志長者のこと」 『宇治拾遺物語』	登場人物の描かれ方や話の構成に着目し、説話の特色を理解する。	- 話の構成や展開を正確に読み取る。 - 各重要古語・「す」・「ぬ」・「つ」・「たり」・係り結びを確認する。
		3 学期末考査		
その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など） 入試対策演習については、夏期講習と冬期講習で集中的に講義を行うので、各自基礎的な文法事項は自主的に復習しておくこと。				

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
古 典	3	3年1類 B型	必修
授業担当者		教科書名	副教材等
*****		精選古典 B (東京書籍)	古文単語 330 (いっずな書店) 新明説総合古典文法 (尚文出版)

科目の到達目標
さまざまな時代の古典作品を読み、既修の古文単語力や文法力を活用して、そこに見られる生活感情や美意識をとらえると共に、現代の生活や価値観と比較して、古典作品の背景やそれぞれの時代の文化をより深く鑑賞できるようにする。

評価の観点と方法について
各分野の解釈力、読解力を定期考査で評価する。その際、授業内容の暗記力でなく、初見の古文にも対応できる古文解釈のための学力が備わっているかを検証する。
基本古語の語彙力など、入試に向けての基本的知識も確認し、評価の一部とする。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
	4	説話 「成方といふ笛吹き」 『十訓抄』	・説話に表れている古人のものの見方や感じ方、考え方を理解する。	・俊綱と成方それぞれの心情と策について理解する。 ・「べし」「む」「らる」の用法を確認する。
	5	日記 「女郎花」『紫式部日記』	・日記を読み、作者のものの見方や感じ方、考え方について考察する。	・「女郎花」の歌のやりとりの意味と筆者の心情を読み取る。
		漢文 「曳尾於塗中」『莊子』	・登場人物の行動や心情を捉え、莊子の思想について考える。	・敬語・係り結び・「なめれ」・「らむ」の識別・「なり」の識別、を確認する。 ・話の展開に即して、内容を正確に読み取らせる。
		1 学期中間考査		
	6	漢文 「桃花源記」『陶淵明集』	・小説に描かれた人々の思想や感情を捉え、ものの見方、感じ方を豊かにする。	・使役・否定・禁止の句法、多義語の用法を確認する。
		日記 「夢よりはかなき世の中を」『和泉式部日記』	・当時の結婚形態を把握し、女性の心情を理解する。	・季節感を表す情景描写や筆者の心情を読み取る。 ・踏まえている古歌・比喩・「あなれ」・「ゆめ」・敬語・主語を確認する。
	7	歌論 「やまと歌は」「六歌仙」 『古今和歌集仮名序』	・和歌に対する古人のものの見方や感じ方、考え方を理解する。	・和歌とはどのようなものだと述べられているかを読み取る。 ・各歌人評を正確に読み取る。
		1 学期末考査		

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	物語 「車争ひ」『源氏物語』	・場面の状況と登場人物の心情を把握し、物語の世界を読み味わう。 ・作品の、古典における位置づけや普遍的価値について考察する。	・登場人物の立場を正確に把握し、男と女それぞれの心情を理解する。 ・各重要古語・主語・敬語・「べし」・「なり」・「る」・「む」・「え…ず」・「な…そ」・省略を確認する。
	10	「亡き人を恋ふる歌」 『正徹物語』 入試対策問題演習 2学期中間考査	・和歌を通して、現代にも通じる親子・夫婦の情愛を感じ取る。	・それぞれの和歌に詠まれている心情を読み取る。 ・各重要古語の意味を確認する。
		物語 「姫君の苦難」 『落窪物語』	・場面や人物の設定に着目しながら、登場人物の行動や心情を捉える。	・本文から状況を正確に読み取り、登場人物の心情や考え方を把握する。 ・会話文の主語と意味を理解する。
	11	評論 「清少納言」「紫式部」 『無名草子』	・様々な評論を読み、論旨を的確に捉える ・評論に述べられた古人のものの見方、感じ方、考え方の特色を理解する。	・作者の論旨を読み取り、理解しながら自分の意見もまとめてみる。 ・各重要古語・敬語・指示語の内容・主語・「あめる」を確認する。
	12	「鷹狩りの歌」 『俊頼髓脳』 入試対策問題演習 2学期末考査	・古人の和歌に対する思いを理解する。	・二首の歌の意味を理解する。 ・四条大納言の言葉の意味とそれぞれの歌に対する評価を理解する。 ・「べし」・「なむ」・「え」・「じ」・「る」の用法を理解する。
三 学 期	1	説話 「留志長者のこと」 『宇治拾遺物語』	・登場人物の描かれ方や話の構成に着目し、説話の特色を理解する。	・話の構成や展開を正確に読み取る。 ・作者の考えを読み取り、理解しながら自分の意見もまとめてみる。 ・各重要古語・「す」・「ぬ」・「つ」・「たり」・係り結びを確認する。
		3学期末考査		
その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など） 入試対策演習については、夏期講習と冬期講習で集中的に講義を行うので、各自基礎的な文法事項は自主的に復習しておくこと。				

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
古典	4	3年・2類・文型	必修
授業担当者		教科書名	副教材等
*****		精選古典 B(東京書籍)	入試問題集 等

科目の到達目標 1・2年次では、最も代表的、基本的な作品の読解を通して、我が国の伝統的な価値観や美意識について学んできた。その基礎の上に立って、内容的にはより高度な作品の深い読解と鑑賞を目指したい。また、殆どの生徒が、大学入試で古典を必要としているので、それに対応できる学力を身につけさせたい。

評価の観点と方法について 教科書には1・2年次に学習したのと同じ書名のものもあるが1・2年次に学習した教材に比べると内容はかなり高度である。これらの作品を正しく読解できる力を身に付けることができれば、大学入試にも対応できると考える。さらに応用力をつけるために、問題集を併用してこれらの教材を組み合わせた形の定期考査を行ってその学習を評価する。古文単語・文学史・漢文句法の復習テストも随時行い、成績に加味する。
--

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一学期	4	説話 『十訓抄』 物語 『源氏物語』二 漢文	・話の展開を捉え、登場人物の行動の狙いを読み取る。	・漢籍の故事から内容を解釈するという認識方法を学ぶ。
	5	『史記』 1 学期中間考査	・場面設定や自然描写などを確かめながら、物語の世界を読み味わう。 ・日本の文化と関係について考える	・『源氏物語』を読み、登場人物の行動や心情を読み取る。 ・史話を読み、登場人物の置かれた状況と行動を理解する。
	6	評論 『古今和歌集仮名序』 『無名抄』『風姿花伝』 漢詩 『李白と杜甫』 漢文 『欧陽文忠公集』	・評論に述べられた古人のものの見方、感じ方、考え方の特色を理解する。 ・漢詩の時代背景を学び、盛唐を代表する李白と杜甫違いを学ぶ。 ・日本の文化と中国の文化との関係について考える。 ・唐代宋代の優れた文章に触れることで、当時の社会問題を学び、現代と比較して考える。	・歌論、能楽論、物語論などを読み、その論旨を読みとる。 ・簡潔で含蓄ある表現にこめられた内容を的確に読みとる。
	7	1 学期末考査 夏期講習		・話の展開に即して内容を正確に読みとり、構成や展開について理解する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	問題演習	・入試に対応できる力を養う。	・問題集や入試過去問題を解くことによって、正しい解答を作成する力を身につける。
	10	入試過去問題演習	・入試過去問題の演習を重ねて学力の充実を図る。	・私立大学の入試問題や二次試験の問題にあたらせ、個別に指導する。
		2学期中間考査	・古典の基礎事項を繰り返し確認する。	・古典文法・古文単語の確認。
	11	問題演習	・入試に対応できる力を養う。	・問題集や入試過去問題を解くことによって、正しい解答を作成する力を身につける。
		センター対策問題集	・センターの過去問題や入試過去問題の演習を重ねて学力の充実を図る。	・私立大学の入試問題や二次試験の問題にあたらせ、個別に指導する。
		入試過去問題集	・古典の基礎事項を繰り返し確認する。	・古典文法・古文単語の確認。
		2学期末考査		
	12	冬期講習		
三 学 期	1	センター試験直前対策	・センター試験に向けての総仕上げをする。	・演習及び、注意点の確認。 ・基本事項をチェックし、模擬問題にあたる。
	2	学年末考査		
	3			

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

- ・適宜復習テストを行う。
- ・受験予定大学の出題傾向を各自で必ず把握しておくこと。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
古典	2	3年・2類・理型	必修
授業担当者		教科書名	副教材等
*****		精選古典 B(東京書籍)	入試問題集 等

科目の到達目標 1・2年次では、最も代表的、基本的な作品の読解を通して、我が国の伝統的な価値観や美意識について学んできた。その基礎の上に立って、内容的にはより高度な作品の深い読解と鑑賞を目指したい。また、殆どの生徒が、大学入試で古典を必要としているので、それに対応できる学力を身につけさせたい。

評価の観点と方法について 教科書には1・2年次に学習したのと同じ書名のものもあるが1・2年次に学習した教材に比べると内容はかなり高度である。これらの作品を正しく読解できる力を身に付けることができれば、大学入試にも対応できると考える。さらに応用力をつけるために、問題集を併用してこれらの教材を組み合わせた形の定期考査を行ってその学習を評価する。古文単語・文学史の復習テストも随時行い、成績に加味する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一 学 期	4	物語 『源氏物語』二	・場面設定や自然描写などを確かめながら、物語の世界を読み味わう。	・『源氏物語』を読み、登場人物の行動や心情を読み取る。
	5	漢文 『史記』 1学期中間考査	・日本の文化と関係について考える	・史話を読み、登場人物の置かれた状況と行動を理解する。
		評論 『無名抄』 『風姿花伝』	・評論に述べられた古人のものの見方、感じ方、考え方の特色を理解する。	・歌論、能楽論、物語論などを読み、その論旨を読みとる。
	6	漢文 『欧陽文忠公集』	・日本の文化と中国の文化との関係について考える。 ・唐代宋代の優れた文章に触れることで、当時の社会問題を学び、現代と比較して考える。	・簡潔で含蓄ある表現にこめられた内容を的確に読みとる。 ・話の展開に即して内容を正確に読みとり、構成や展開について理解する。
	7	1学期末考査 夏期講習		

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	問題演習	・入試に対応できる力を養う。	・問題集や入試過去問題を解くことによって、正しい解答を作成する力を身につける。
	10	入試過去問題演習	・入試過去問題の演習を重ねて学力の充実を図る。	・私立大学の入試問題や二次試験の問題にあたらせ、個別に指導する。
		2学期中間考査	・古典の基礎事項を繰り返し確認する。	・古典文法・古文単語の確認。
	11	問題演習	・入試に対応できる力を養う。	・問題集や入試過去問題を解くことによって、正しい解答を作成する力を身につける。
		センター対策問題集	・センターの過去問題や入試過去問題の演習を重ねて学力の充実を図る。	・私立大学の入試問題や二次試験の問題にあたらせ、個別に指導する。
		入試過去問題集	・古典の基礎事項を繰り返し確認する。	・古典文法・古文単語の確認。
三 学 期	12	2学期末考査		
		冬期講習		
	1	センター試験直前対策	・センター試験に向けての総仕上げをする。	・演習及び、注意点の確認。 ・基本事項をチェックし、模擬問題にあたる。
	2	学年末考査		
	3			

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

- ・適宜復習テストを行う。
- ・受験予定大学の出題傾向を各自で必ず把握しておくこと。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
国語表現	2	3年・3類	必修
授業担当者		教科書名	副教材等
*****		教育出版 国語表現	

科目の到達目標 ・話す・聞く・書く技術を高め、小論文作成の力を養う。 ・社会生活に役立つ表現力・理解力を身につける。 ・語彙力をつける。				
評価の観点と方法について ・教材文の内容が的確に理解出来ているか。内容に共感し、的確に批判することができるか。 ・授業への参加態度、課題プリントを活用した提出物から取り組みの深さを判断する。 ・適宜感想文や小論文の作成を促し、提出させる。				
	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一学期	4	「言葉に変える」	自己の表現能力の実態を把握し、表現を工夫することの必要性を知る。	視写、聴写、メモを書く、図を言葉に変える等の作業を通して、表現の工夫の必要性を知る。
	5	「声の表現」	話すことの大切さに気付く。 感じたこと・考えたことを正確に他者に伝える為の方法を学ぶ。	呼吸の仕組みと腹式呼吸の方法について理解し、声の出し方を学ぶ。 声の高低・間の取り方を工夫して話す練習をする。 三分間スピーチに挑戦する。
		「漢字と語彙」	日本語の特徴に関心を持ち、解釈や表現に生かそうとする意識を養う。	漢字の構造や部首のはたらきを理解し、漢字の読みや意味を考察する。
	6	小論文Ⅰ ①意見文を論理的に述べる ②セルフ・ディベート ③文章の「型」－構成の方法 ④構成ノート ⑤テーマ型小論文の実際 ⑥文章のリフォーム－推敲 (期末考査)	小論文の種類を知り、根拠を論理的に述べることの大切さを理解する。 自分の意見の反論を想定する。 文章構成の方法を学ぶ。 文章を書くための設計図を作る。 実際に小論文を書く。 推敲の方法を学ぶ。	自分の意見を明確にし、根拠とともに文章化する。 論題について立論・反論・主張のメモを作成する。 三段構成の構成法と構成上の特徴を理解する。 論題について構成ノートを作成する。 文章を推敲し、読みやすくする。
	7			

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	小論文Ⅱ ①要約の方法 ②課題文から問いを見つける ③課題文型小論文の実際 ④データを読む ⑤データ型小論文の実際	要約の方法を学ぶ。 課題文に応じた論の進め方を学ぶ。 実際に小論文を書く。 グラフや表など視覚的資料を読み取る力を養う。 実際に小論文を書く。	新聞の社説やコラムを用いて、要約文を書く練習をする。 課題文をよく読み、何が求められているか考える。 課題文を要約し、自分の意見を述べる練習をする。 グラフや表のデータならではの注意点を学び、資料を読み取る練習をする。
	10	面接—社会との接点 ①自己を分析する ②質問と応答のレッスン ③模擬面接をする	自己を知り、場面を判断し、相手に配慮して、自分の意見を述べる力を養う。	自己アピールを作成する。 伝わる話し方について理解する。 面接の基本事項を学ぶ。
	11	プレゼンテーションの方法	コミュニケーションの諸技術を総合的に活用する力を付ける。	プレゼンテーションの実例をもとに発表内容と伝達方法を検討する。
	12	(期末考査)		
三 学 期	1	話し合いの技術 メディアのリテラシー まとめ	話し合いには協力して最良の成果を生み出すための意識的な努力が求められることを理解する。 高度情報化社会における受信者・発信者の責任について理解する。 表現の技術は人間が社会生活を営むために必要な、もっとも基本的な技術であることを確認する。	身近な話し合いを見直す。 実際に問題解決のための会議、ディベートを行う。 情報が受信者によって多様に解釈される具体例を考える。
	2	(学年末考査)		

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

生きた日本語を身につけさせるようにするため、単に読んで理解するという段階にとどまらず、それを受けて、自分の考え方を表現し、他者へ伝達する方法としての言葉を意識させる。
漢字力強化にも力を注ぎ、日本語の正しい知識が身につくよう意識させる。